

ぶどう「シャインマスカット」の早期成園化に適する仕立て方

ぶどう「シャインマスカット」は食味に優れ、栽培性も比較的容易なことから、山形県では平成 21 年にぶどう優良品種に位置づけて振興を図っています。本稿では、無核栽培における早期成園化に適する仕立て方を紹介します。

☆ 技術の概要

1. 「シャインマスカット」の無核栽培において、短梢剪定 I 型仕立て（植栽距離 3m×16m）、または短梢剪定 H 型仕立て（植栽距離 6m×12m）で早期成園化が可能です（図 1）。
2. 短梢剪定 I 型および H 型仕立てでは定植 5 年目には樹冠占有面積が 100%となるのに対し、長梢剪定 X 型仕立てでは定植 5 年目の樹冠占有面積は 70%程度です（図 2）。
3. 短梢剪定 I 型および H 型仕立てでは、長梢剪定 X 型仕立てに比べ、新梢・果房管理に要する作業時間を 20%程度短縮できます。
4. 短梢剪定 I 型および H 型仕立ては長梢剪定 X 型仕立てに比べ、初期からの収量と、定植 6 年目までの累積収量も多くなり（図 3）、果実品質に大きな差はありません（表 1）。



図 1 短梢剪定 H 型の着房状況

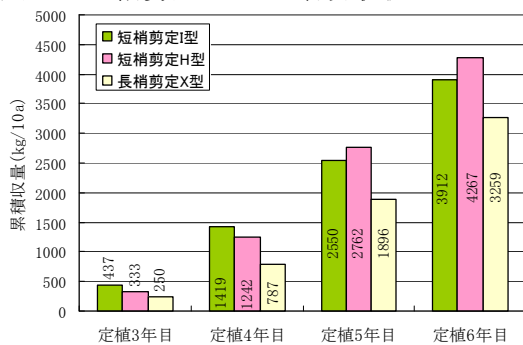


図 3 各仕立て方の累積収量

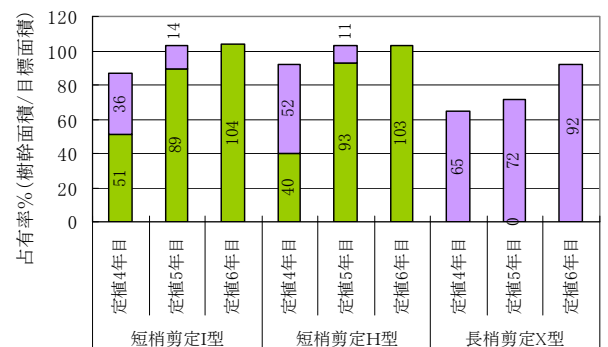


図 2 各仕立て方の樹冠占有率

表 1 各仕立て方の果実品質

区	果房重 (g)	着粒数 (個)	果粒重 (g)	糖度 (Brix%)
短梢剪定 I 型	682	52.0	13.9	18.3
短梢剪定 H 型	671	48.8	14.2	17.4
長梢剪定 X 型	636	47.8	13.7	17.3

平成 21、22 年 2 ヶ年の平均値

☆ 活用面での留意点

1. 本結果は、2007 年 4 月に定植した台木テレキ 5 B B を利用した「シャインマスカット」での成果です。
2. 早期の成園化には、定植直後の管理が極めて重要なので灌水等こまめに実施します。
3. 詳細については、山形県農業総合研究センター園芸試験場果樹部にお問い合わせください（電話 0237-84-4125、メール yenshi@pref.yamagata.jp）。

(果樹研究所 企画管理部 研究調整役 岩波 徹)